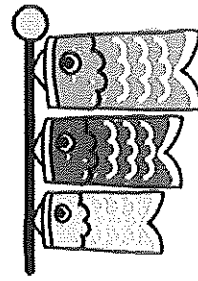




給食だより

2018年5月野上あゆみ保育園



給食に登場する春の食材

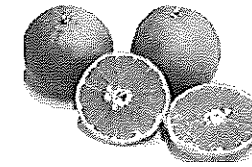
給食には、その時々旬の野菜を使用しております。今まで口にしない食材が登場することがあるかもしれません。その場合は、毎月配布させていただく献立表にその日の使用食材を載せておりますので、事前にご家庭で食される事をおすすめ致しております。

～5月に給食に登場する春の食材～

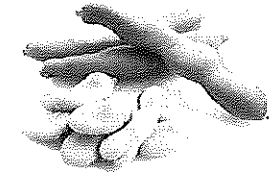
あまなつ



セミノールオレンジ



そら豆



さわやかなそよ風が心地良い季節となり、保育園での生活も1ヶ月が経ちました。新しい環境に慣れ始めた一方、ゴールデンウィークなどもあり、少し疲れが出てきているかもしれません。食欲が落ち気味になることもありますが、量が少なくてもバランスよく食べられる食事をご家庭でも心がけてみてください。



5月5日！端午の節句



端午の端は「はじめ」という意味で、「端午（たんご）」は5月最初の午（うま）の日のことでした。それが、午（ご）という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降、5月5日が端午の節句として定着していきました。この節句は、家の後継ぎとして生れた男の子が無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となったのです。

☆端午の節句の過ごし方☆

○鎧や兜を飾る

鎧や兜を飾ることは“身体を守る”ものという意味が重視され、交通事故や病気から大切な子どもを守ってくれるようにという願いも込められています。

○こいのぼりを飾る

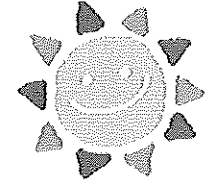
こいのぼりは、江戸時代に町人階層から生まれた節句飾りです。鯉は、清流はもちろん、池や沼でも生息することができる非常に生命力の強い魚です。その鯉が急流をさかのぼり、竜門という滝を登ると竜になって天に登るという中国の伝説にちなみ、子どもがどんな環境にも耐え、立派な人になるようにとの立身出世を願う飾りです。

○柏餅を食べる

柏は新しい芽が出るまでなかなか葉っぱが落ちないことから、跡継ぎが絶えないことを連想させ、めでたいせきで使われるようになりました。柏の葉っぱは食べ物、腐るのを防ぐ役目もします。



5月2日 こどもの日メニュー



保育園では一足先に5月5日の「こどもの日」にちなんだ給食を楽しみました。給食にこいのぼりカレー、おやつに柏もちを提供しました。いつもと違うカレーに驚いている様子でしたが、どのクラスもしっかりと食べてくれました。

